

# MyBeacon® Pro 防水防塵タイプ (MB004 HDc-DR2)

## 取扱説明書 Edition 1.3.0

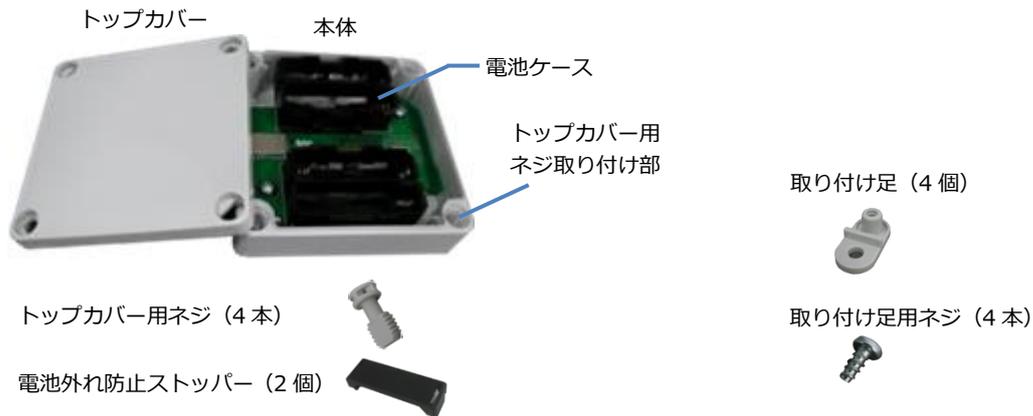


MyBeacon® Pro 防水防塵タイプ (MB004 HDc-DR2) は、防水性、防塵性、および難燃性を備えた屋外での利用に適した Beacon です。単 3 乾電池を 4 本内蔵し、長時間の連続使用が可能です。

Bluetooth® low energy 技術に対応した Bluetooth 製品です。iBeacon に対応した iOS デバイス向けにデータを発信します。iBeacon に対応した iOS デバイスを使って発信するデータを書き換えることが可能です。

### 同梱物と各部の名称

本製品には、以下の同梱物が含まれます。



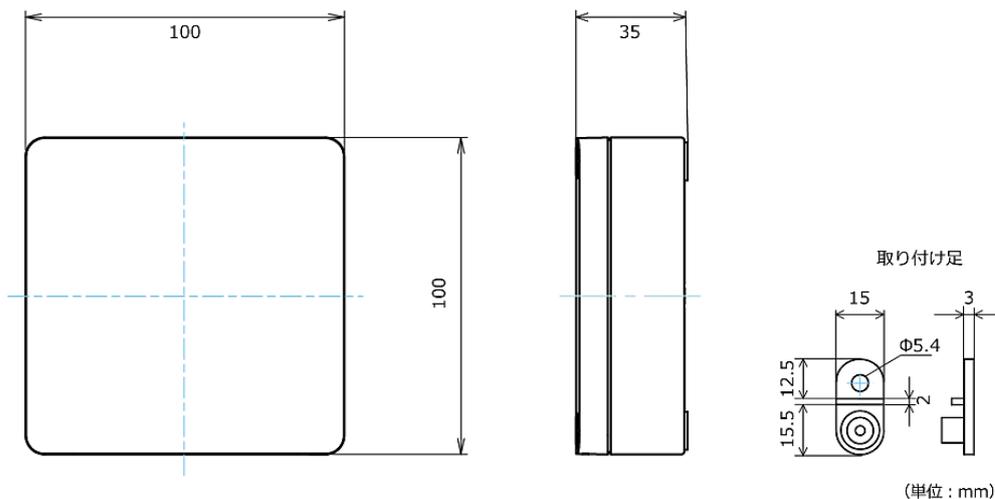
### ご用意いただくもの

単 3 乾電池

Beacon1 個につき、単 3 乾電池 4 本が必要です。

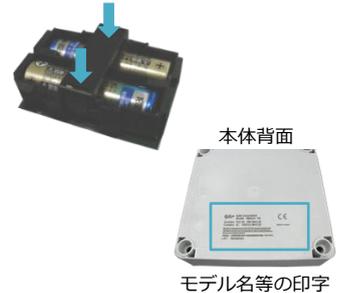
※ 電池は付属しておりません。別途ご用意ください。

### 外形寸法図



## Beacon の使い方

1. トップカバーを外して、本体の電池ケースに「+」、「-」の表示にしたがって電池を入れてください。(ご購入時は、トップカバーが外れた状態です。)電池を入れると Beacon データの発信が開始されます。
2. 右図のように、電池ケースに電池外れ防止ストッパーをかぶせ、両端を押して、パチンというまではめ込んでください (2箇所)。
3. 本体と向きを合わせてトップカバーを取り付けてください。本体の向きは、背面のモデル名等の印字で確認してください。
4. トップカバー用ネジでトップカバーを固定してください (4箇所)。  
その際、以下の適正締め付けトルクで締め付けてください。締め付けが不完全な場合、防水、防塵効果が低下します。

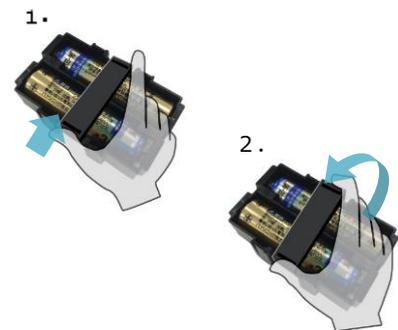


### 適正締め付けトルク：

1N・m ~ 1.5N・m (10kgf・cm ~ 15kgf・cm)

### 電池外れ防止ストッパーの外し方

1. 右図のように、電池外れ防止ストッパーの下に指をかけ、押します。
  2. 片側が浮きますので、ストッパーを外してください。
- ※ 外れたときに飛び出すことがありますので、失くさないように気を付けてください。



### 取り付け足の付け方

取り付け足は、トップカバーを外した状態で取り付けます。

1. 本体のトップカバー用ネジ取り付け部の下に取り付け足をはめ込んでください。
2. トップカバー用ネジ取り付け部から、取り付け足用ネジで固定してください。



### 取り付け足を利用して固定する場合

取り付け足を利用して本製品を壁や柱などへ固定する場合は、取り付ける箇所の強度などを確認して任意の方法で固定してください。

※ 固定用のネジなどは付属していません。

## 防水・防塵・難燃性能について

本製品は、トップカバーを適正トルクで締め付けた状態で、IP65 規格に適合した防水・防塵性能を備えています。また本製品は難燃性 UL94 V-2 を満たしています。

## Beacon 送信データ

出荷時に設定されている、Beacon が発信する電波の初期値は以下のとおりです。

項目	初期設定値
Measured Power	-56 dBm
output power	0 dBm

出荷時に設定されている、Beacon が発信するデータの初期値は以下のとおりです。

項目	仮設定値
Proximity UUID	B0FC4601-14A6-43A1-ABCD-CB9CFDDB4013
Major	ランダム値 (1~65535 のいずれかの値)
Minor	ランダム値 (1~65535 のいずれかの値)

設定アプリケーションで適切な値に設定してからご使用ください。

## 製品仕様

項目	値
Bluetooth version	Bluetooth® 4.1 low energy technology
動作環境	温度 -20 ~ 75°C, 湿度 20 ~ 80% (結露無きこと)
保存温度	-20 ~ 75°C (電池除く)
電源	単 3 乾電池 4 本
外形寸法 (W×D×H)	100×100×35mm 129×100×38mm (取り付け足装着時)
重量	約 176g (電池除く) 約 188g (取り付け足装着時、電池除く)

## 法規制の順守

Country	Standard
日本	証明規則第二条第一項第 19 号に掲げる無線設備 認証番号 : 007-AB0143
アメリカ	FCC CRF Title47 Part15 Subpart C FCC ID : O8CJM1L2S
カナダ	IC RSS-210 IC ID : 10551A-JM1L2S
シンガポール*	シンガポール無線規則 登録番号 : N2846-14
タイ*	タイ無線規則
カンボジア*	カンボジア無線規則 TRC ID : 0003 2014-1L2S
オーストラリア*	オーストラリア無線規則 (RCM)
ニュージーランド*	ニュージーランド無線規則 (RCM)
中国*	SRRC 認証 CMIIT ID : 2014DJ3646
フィリピン*	ESD-1409677C
マレーシア*	SIRIM QAS International Sdn. Bhd RAHY/21J/0914/S(14-1855)
台湾*	LP0002( Low-power Radio-frequency Devices Technical Specifications) CCAM14LP0290T1

(\*: 認証によっては、表記要件などの追加が必要となる場合があります。)

(2017 年 7 月現在)

### Bluetooth SIG

Declaration ID : D036182

QD ID : 54876, 46832

**FCC/IC Notice**

This device complies with Part 15 of FCC Rules and Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of this device.

Le présent appareil est conforme aux la partie 15 des règles de la FCC et CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

**FCC Caution**

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

**Radio Frequency Exposure Compliance**

This equipment complies with FCC/IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines and RSS-102 of the IC radio frequency (RF) Exposure rules. This equipment has very low levels of RF energy that are deemed to comply without testing of specific absorption ratio (SAR).

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles les radioélectriques (RF) de la FCC lignes directrices d'exposition et d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée conforme sans évaluation de l'exposition maximale autorisée. Cependant, cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le dispositif rayonnant et le corps (à l'exception des extrémités : mains, poignets, pieds et chevilles).

※ 本取扱説明書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

※ Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、当社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

※ その他の記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

株式会社アプリックス

〒169-0051 東京都新宿区新宿西早稲田二丁目 20 番 9 号